

一般国道256号 濃飛横断自動車道(八幡・堀越峠工区) における計画段階評価

1. 課題

①東海北陸自動車道と国道41号を結ぶ東西軸が脆弱

- 飛騨地域と中濃地域を結ぶ南北軸は、東海北陸自動車道と国道41号のダブルネットワークが確保されているが、東西軸が脆弱。(図1)
- 山間部を通る国道41号は、飛騨川の並走や雨量規制区間等、災害リスクが高く、通行止めが頻繁。
- 令和2年7月豪雨では、国道41号が39日間通行止めとなったため、大幅な迂回だけでなく、通勤・通学地付近での泊まり込みが必要となるなど、市民生活の大きな負担が発生。

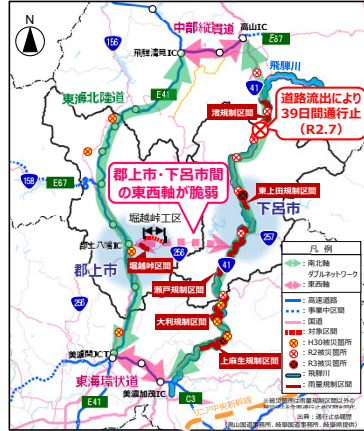


図1 飛騨地域・中濃地域の広域道路ネットワーク

②国道256号堀越峠の課題による孤立リスク

- 国道256号堀越峠はつづら折りの険しい山道である為、事前通行規制区間、線形不良、大雪時のスタック等、通行リスクが高い路線。(図2)
- 郡上市和良地区から郡上市街地への交通は、堀越峠の通行止めにより地域が孤立するため、日常生活に支障が発生。(図3)



図2 国道256号堀越峠の通行リスク



図3 郡上市和良地区の孤立状況(平成30年7月豪雨)

③観光名所である郡上・下呂・中津川間のアクセスが脆弱

- 郡上・下呂・中津川は岐阜県の観光名所であるが、当該地域を結ぶ道路ネットワークが脆弱であり、地域間連携の障壁となっている。(図4)
- リニア開業による観光活性化効果を岐阜県全体へ波及するため、郡上・下呂・中津川等、岐阜県の観光名所間のアクセス性の強化が課題。

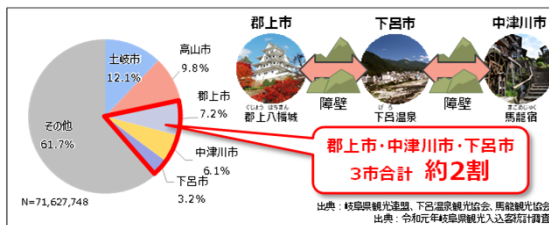


図4 岐阜県内の市町村別の観光入込客数

2. 原因分析

①郡上市と下呂市間に整備されていない高規格道路

- 郡上市と下呂市間には、濃飛横断自動車道の計画があるが、濃飛横断自動車道全線のうち、約9割が未整備となっており、整備が進んでいない状況。(図5)
- 堀越峠周辺には、地すべり、湧水、断層破砕帯等、脆弱な地質となっている区間が存在。



図5 濃飛横断自動車道の整備状況

②災害に対し脆弱な堀越峠

- 国道256号堀越峠区間は事前通行規制区間に設定されており、平成25年以降、年平均約8回の通行止めが発生。(図6)
- 標高差が300mあり、積雪寒冷地域かつ北側斜面に位置していることから、冬期には勾配や積雪の影響により、特に大型車両のスタックが発生。(図7)

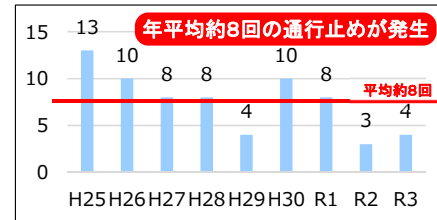


図6 国道256号堀越峠区間の通行止め実績(H25~R3)



図7 積雪・凍結による車両スタック発生の様子

③周遊性が低い観光名所間

- 郡上・下呂・中津川を連絡する高速道路は、一般道路に比べ大幅な迂回が必要。一般道路についても、山間部を通過するため、走行性が低い状況。(図8)



図8 リニア中央新幹線岐阜県駅からのアクセッルルート

3. 政策目標

- ①ダブルネットワーク機能を発揮させる東西軸の強化
- ②山間地域の暮らしを支える信頼性の高い道路の確保
- ③リニア効果を広域に波及するためのアクセス強化

一般国道256号 のうひ 濃飛横断自動車道(八幡・堀越峠工区) はちまん ほりこしとうげ における計画段階評価

4. 対策案の検討

ルート帯	案①: 国道472号接続案	案②: 郡上八幡IC直結案	案③: 郡上八幡IC直結+現道活用品
延長	約10.4km	約10.5km	約10.0km
政策目標	<ul style="list-style-type: none"> ダブルネットワーク機能を発揮させる東西軸の強化 山間地域の暮らしを支える信頼性の高い道路の確保 リニア効果を広域に波及するためのアクセス強化 	<ul style="list-style-type: none"> 東海北陸自動車道と国道41号の南北線ダブルネットワークを結ぶ、脆弱な東西軸である国道256号の強化が可能。 国道256号堀越峠の通行リスクである事前通行規制区間1区間、線形不良24箇所を解消し、信頼性の高い道路の確保が可能。 リニア中央新幹線の開業を見据え、観光名所である郡上市、下呂市、中津川市間のアクセスを強化することで、地域観光の支援が可能。 	<ul style="list-style-type: none"> 東海北陸自動車道と国道41号の南北線ダブルネットワークを結ぶ、脆弱な東西軸である国道256号の強化が可能。 国道256号堀越峠の通行リスクである事前通行規制区間1区間、線形不良24箇所を解消し、信頼性の高い道路の確保が可能。 リニア中央新幹線の開業を見据え、観光名所である郡上市、下呂市、中津川市間のアクセスを強化することで、地域観光の支援が可能。
安全性・走行性	×	○	△
地域への影響	×	○	△
郡上八幡IC～入間所要時間	△	○	△
地域高規格道路としての機能	×	○	△
事業費(参考)	○	△	△
評価	×	○	△

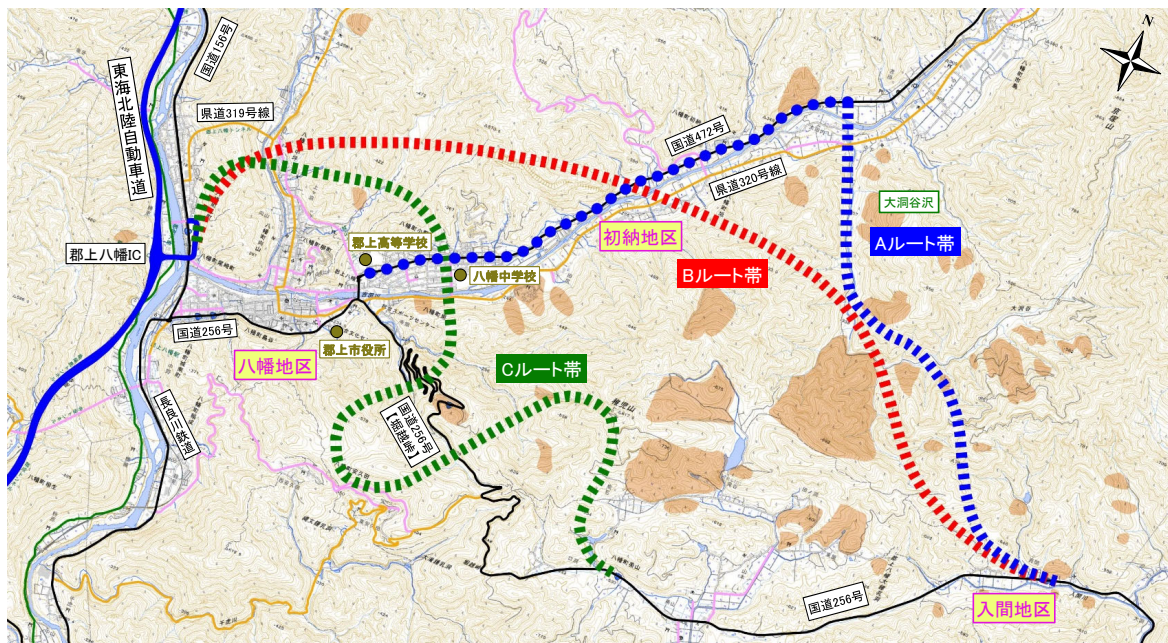
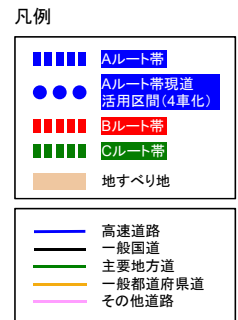


図9 当該地域における対策案の検討

地図出典：国土交通省 国土地理院



対応方針：【Bルート】による対策が妥当
【計画概要】
 ・路線名：濃飛横断自動車道(八幡・堀越峠工区)
 ・区間：岐阜県郡上市八幡町五町～岐阜県郡上市八幡町入間
 ・概略延長：約10.5km
 ・標準車線数：2車線
 ・設計速度：60km/h
 ・概ねのルート：図9の通り

(参考) 当該事業の経緯等
都市計画決定等の状況
 ・R3.3 都市計画決定
都市計画決定後の状況
 ・R4.4 直轄による権限代行実施の検討を行うための調査
地域の要望等
 ・R4.11 濃飛横断自動車道事業促進期成同盟会が国土交通政務官に新規事業化を要望
 ・R4.11 下呂市長、郡上市市長が財務政務官、国土交通省に新規事業化を要望
 ・R5.1 濃飛横断自動車道事業促進期成同盟会が国土交通政務官、財務政務官に新規事業化を要望
 ・R5.2 郡上市市長が財務政務官、国土交通省に新規事業化を要望